

世界のマエストロ

佐渡 裕

Yutaka SADO &
ドイツの名門

ケルン放送交響楽団

WDR Sinfonieorchester Köln
Beethoven Symphony No.9

ベートーヴェン

第九

東京公演 12月11日(木)~18日(木)

大阪公演 12月20日(土)~22日(月)

あれほど使命感を持って指揮したことはない
——鎮魂、慰め、希望、感謝、歓喜
全ての人の〈祈り〉を再びハミングに

東日本大震災後ドイツの仲間達は、支援コンサートを開くためすぐに立ち上がった
急速ドイツに向かった佐渡裕、共に奏でたケルン放送響
全身全霊の祈りを込めた『第九』から3年半

震災15日目の『第九』

指揮 佐渡 裕

演奏 ケルン放送交響楽団



©Jun Yoshimura

ソプラノ 〓 サンネ・ベルンハルト
アルト 〓 マリオン・エクスシュタイン
テノール 〓 西村 悟
バス 〓 アンドレアス・パウアー
合唱 東京オペラシンガーズ
晋友会合唱団

佐渡裕指揮×ケルン放送交響楽団 ベートーヴェン『第九』

Yutaka SADO & WDR Sinfonieorchester Köln Beethoven Symphony No.9

世界の名門オーケストラの指揮台に次々と招かれ、2015年9月には音楽の聖地オーストリアで、107年もの歴史を誇る
トーンキュンストラ管弦楽団音楽監督に就任など**最前線を走り続ける佐渡裕**
タッグを組むのは、震災から15日目、日本への祈りをこめて『第九』を共に奏でたドイツの盟友「ケルン放送交響楽団」
佐渡裕と名門ケルン放送響が捧げる、**今冬最高の『第九』交響曲!**



©Tonhalle Düsseldorf / S. Diesner



あれほど使命感を持って指揮したことはない— 祈りをこめた、震災15日目の『第九』

東日本大震災発生から3日後の2011年3月14日、私に一本の国際電話がかかってきた。日本企業のドイツ支社等が集中し、日本人居住者の多いデュッセルドルフのオケと、隣町のケルン放送響が合同で、今月日本の為に第九を演奏したい。その指揮台に立って欲しいという要請だった。

震災直後、私は未曾有の災害を目の当たりにし、どうしても楽譜を開いて音楽に向き合うことが出来ずにいた。音楽家である自分は被災地の為に何も役立てないと、強い無力感を覚えていた私は言葉に詰まった。こんな現実を前にして「歓喜の歌」と冠される第九を演奏することなど、到底不可能で、無意味にさえ感じた。

けれど「今だからこそ“Alle Menschen werden Brüder!”全世界が兄弟となって手をつなごう」と歌っている第九を高らかに奏でよう!と背中を押してくれたのはドイツの友人達だった。もう何百回も演奏し、

知りつくしていたはずの第九のメッセージが、まるで光が差すように私の心に響いてきた。「音楽を通じて勇気、希望、力を届けていこう」。私は指揮台にのぼる決意をした。

3月26日、普段は合同演奏会などしないドイツの2つの名門オーケストラ、そしてこの演奏会の意義に共感して急遽集まったソリストと合唱団と共に第九を奏であげた。あの時ほど使命感を持って指揮したことはない。そしてあの日の第九には深い祈りがこめられていた。

共に演奏してくれたケルン放送交響楽団、今年彼らを迎えて、再びこの日本で第九を演奏出来る事が誇らしく、感謝に堪えない。鎮魂、慰め、希望、感謝、歓喜…全ての人の祈りをこめて。

佐渡 裕

熟達と新鮮さ。名門オケと指揮者と作品の稀有の必然的コンビネーション この第九は別格の感銘を聴衆に残すに違いない—

第九はあらゆる意味で特別な曲。ベートーヴェンが作曲法の極致を駆使した3つの楽章の後で、分かりやすいメロディーと解放感のフィナーレを加え、「この1曲だけでポピュラー音楽の扉を開いた」とすら言いたくなる破天荒な作品。この極端な広さや両面性は、そのまま佐渡裕の特徴でもあろう。

敷居を下げてクラシックの楽しさを知らせながら、同時にベルリン・フィルの定期演奏会に招かれ、ウィーンの名門の音楽監督にまでなろうとしている。だから、佐渡のこれぞ1曲と言うなら、やはり「第九」。

ドイツ各地の放送局のオケは世界基準でのAランクが並んでいるが、ケルンもその一つ。ドホナーニ、ビシュコフら錚々たる名前がこれまでの常任に並んでいる。ビシュコフはバリ管弦楽団の後にケルン放送響を引き受けた。それほど名門だ。「ポピュラー名曲によらない大晦日コンサート」という難題を一発でクリアして、佐渡はこのオケと厚い信頼関係を構築した。

声楽のソリストたちは一転して新鮮組。バスのパウアーはベルリン国立歌劇場を本拠にバレンボイム、デュタメルらと共演を重ね、西村悟も彗星のように出てきた有望株。アルトのエクシュタインはヘンゲルブロックの度重なる起用によりドイツ圏で人気上昇中。ソプラノのベルンハルトはすでにメッツマッハーやホグウッドから日本公演でも指名されたりしている。そしてコーラス。東京オペラシンガーズは、世界でも珍しいプロ集団であり、その声量はやはりモノが違う。ベルリン・フィルに複数回招かれている晋友会も加えて「やはり第九は迫力を味わいたい」という本音に、これ以上の合唱団は考えにくい。

熟達、新鮮、名門オケ、そして何より指揮者と作品の稀有の必然的コンビネーション。これらが混在するこのツアーは、あまたある第九公演の中でも別格の感銘を聴衆に残すに違いない。

音楽プロデューサー 平井 洋

喜び、それはきらめく神の後光
 美しい楽園の乙女だ
 その熱い炎を身体一杯に満たし
 天上なる喜びの聖地へと歩んでいこう
 その不思議な力は、時流が過酷にも
 引き裂いていたものを再び結びあわせる
 そのやさしい翼に抱かれれば
 すべての者は兄弟になる

ベートーヴェン交響曲第九番 第4楽章
 フリードリッヒ・フォン・シラー「歓喜に寄せて」より 訳詞監修:佐渡裕

Y u t a k a S A D O & WDR Sinfonieorchester Köln Beethoven, Symphony No.9



佐渡 裕 (指揮) Yutaka Sado

故レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。95年第1回レナード・バーンスタイン・エルサレム国際指揮者コンクール優勝。現在拠点をベルリンに置き、バリ管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、バイエルン国立歌劇場管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団、北ドイツ放送交響楽団等一流オーケストラを毎年多数指揮している。2015年9月よりオーストリアを代表する、107年の歴史を持つトーンキュンストラ管弦楽団音楽監督に就任する。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、「題名のない音楽会」(テレビ朝日系列)の司会者を務める。

オフィシャルファンサイト: <http://yutaka-sado.meetsfan.jp/>



ケルン放送交響楽団 WDR Sinfonieorchester Köln

1947年WDR(西部ドイツ放送協会)開局と同時に発足し、創立67周年を迎える。ヨーロッパの最も重要な放送交響楽団として世界的に知られる。これまでにドホナーニ、若杉弘、ベルティニーニ、ピシュコフなど錚々たる巨匠たちが首席指揮者を歴任。2010/11シーズンからはユッカ=ベッカ・サラステが首席指揮者を務める。歴史ある名門であると共に、現在も最も躍進し世界中で注目を集め続けているオーケストラである。

今世界のオペラハウスをリードする逸材として引く手あまたの活躍を続ける国際的歌手に日本を代表する若手スターテノール西村悟を加えた 注目のソリスト陣!!



ドイツのオペラハウスで数々の主役を務める。震災15日目の(第九)にもソリストとして登場

ソプラノ *Soprano*

スザンネ・ベルンハルト
 Susanne Bernhardt



数々の受賞で国内での人気は今や不動。日本から世界に羽ばたくスーパーテノール

テノール *Tenor*

西村 悟
 Satoshi Nishimura



ヘンゲルブロックなど実力派指揮者と多数共演。ザルツブルグ音楽祭にも出演

アルト *Alto*

マリオン・エクシュタイン
 Marion Eckstein



ベルリン国立歌劇場専属歌手。アバド、バレンボイム、ドゥダメル、ラトルらに認められた実力派

バス *Bass*

アンドレアス・バウアー
 Andreas Bauer

合唱 *Chorus*

東京オペラシンガーズ Tokyo Opera Singers

ウィーン・フィル、サイトウキネン等世界的オケと多数共演のプロフェッショナルコーラス

晋友会合唱団 Shin-yukai Choir

国内外で注目を集める、小澤征爾+佐渡裕の信頼も厚い圧倒的実力のアマチュア合唱団

佐渡裕指揮×ケルン放送交響楽団

ベートーヴェン:交響曲第9番ニ短調作品125「合唱付き」

Yutaka SADO & WDR Sinfonieorchester Köln
Beethoven Symphony No.9

	公演日	会場	開場	開演
東京公演	12月11日(木)	東京芸術劇場コンサートホール	18:00	19:00
	12月12日(金)	サントリーホール	18:30	19:00
	12月13日(土)	Bunkamura オーチャードホール	14:30	15:00
	12月14日(日)	ミューザ川崎シンフォニーホール	14:30	15:00
	12月16日(火)	サントリーホール	18:30	19:00
	12月17日(水)	NHKホール	18:15	19:00
	12月18日(木)	東京国際フォーラム ホールA	18:00	19:00
大阪公演	12月20日(土)	大阪/フェスティバルホール	14:00	15:00
	12月21日(日)	大阪/フェスティバルホール	12:00	13:00
	12月22日(月)	大阪/フェスティバルホール	18:00	19:00

東京国際フォーラム 限定特別企画

《徹子と裕の部屋》

12/18
(木)

～第九を100倍楽しむ方法～

出演:佐渡裕/黒柳徹子 ※第九演奏前19:00～19:30に開催



チケット料金(税込)

東京芸術劇場

サントリーホール

オーチャードホール

S ¥20,000

A ¥17,000

B ¥13,000

C ¥9,000

ミューザ川崎

S ¥20,000

A ¥17,000

B ¥13,000

C ¥9,000

D ¥7,000

NHKホール

S ¥19,000

A ¥16,000

B ¥12,000

C ¥8,000

東京国際フォーラム

S ¥16,000

A ¥13,000

B ¥9,000

C ¥5,000

大阪/フェスティバルホール

S ¥19,500

A ¥17,500

B ¥13,500

C ¥9,500

D ¥7,000

BOX席 ¥25,000

一般発売 2014年9月13日(土) 午前10時 [東京・大阪共通]

《東京公演》

チケット取扱 (東京文化会館以外の各会館プレイガイドは、開催公演のみ取扱い)

◇チケットスペース 03-3234-9999 チケットスペースオンライン [チケットスペース](#) 検索

◇イープラス <http://eplus.jp/sado9/>

◇チケットぴあ 0570-02-9999【Pコード:236-843】 <http://pia.jp/t/>

◇ローソンチケット 0570-000-407【オペレーター】・0570-084-003【Lコード:38166】 <http://l-tike.com/>

◇サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 <http://suntory.jp/HALL/>

◇Bunkamuraチケットセンター 03-3477-9999(10:00～17:30)

オンラインチケット My Bunkamura <http://www.bunkamura.co.jp/mybunkamura/>

◇ミューザ川崎シンフォニーホール 044-520-0200 ミューザwebチケット <http://muza.pia.jp/>

◇東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

[http://www.geigeki.jp/t/\(パソコン\)](http://www.geigeki.jp/t/(パソコン)) [http://www.geigeki.jp/i/t/\(携帯\)](http://www.geigeki.jp/i/t/(携帯))

◇東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 (6月～11月は、休館のため窓口販売はございません)

主催= tv asahi / e+ イープラス

お問合せ・ご予約=チケットスペース 03-3234-9999

《大阪公演》

チケット取扱

◇フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221(10:00～18:00) 窓口販売は12月14日より(ただし残席がある場合に限る)

◇フェスティバルホール オンラインチケット <http://www.festivalhall.jp> ※要事前登録

◇ABCぴあ <http://abc-ticket.pia.jp/> [ABCぴあ](#) 検索

◇ローソンチケット 0570-000-407【オペレーター】・0570-084-005【Lコード:54831】 <http://l-tike.com/>

◇イープラス <http://eplus.jp/sado9/>

◇チケットぴあ 0570-02-9999【Pコード:236-994】 <http://t.pia.jp/kansai/kyodo-osaka/>

◇CNプレイガイド 0570-08-9999【オペレーター】 <http://cn.jp/k-o/>

主催= 朝日放送 / festival hall / KYODO

お問合せ・ご予約=フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221
(10:00～18:00)

《東京・大阪共通》

佐渡裕オフィシャルファンサイト先行販売 7月18日(金)～22日(火)

<http://yutaka-sado.meetsfan.jp/>

※オフィシャルファンサイトへのメール会員登録は無料です ※チケット購入には別途イープラスの会員登録が必要となります(無料)

●未就学児のご入場はご遠慮ください ●事情により、出演者などが変更となる場合があります